

Long-Term Medical Care,
Navigating the New Normal

慢性期医療、ニューノーマルを論じる。

The 6th Asian Congress of Medical and Care Facilities 第6回アジア慢性期医療学会

Date | 20(Thu) ~ 21(Fri) June 2024

Place | BPEX. Busan, Republic of Korea

Contact | ☎ +82-55-270-2540, com@silver4u.net

開催概要

- 主 催 : アジア慢性期医療協会・(社)韓国慢性期医療協会
- 学 会 長 : 金徳鎮 (社)韓国慢性期医療協会 会長・(医)喜縁医療財団 会長
- 大 会 長 : 河泰國 ソウルポグンハンナム病院長
- 会 期 : 2024. 6. 20.(木) ~ 21.(金)
- 会 場 : 釜山港国際展示コンベンションセンター 5F
- 参 加 費 : 事前登録 ₩150,000.- 現場登録 ₩200,000.-
- お問い合わせ : (社)韓国慢性期医療協会 事務局
☎ +82-55-270-2540 ✉ com@silver4u.net

学会長ご挨拶



社団法人 韓国慢性期医療協会
医療法人 喜縁医療財団

会長 金徳鎮(キム・ドクジン)

「第6回アジア慢性期医療学会」は2024年6月20日(木)～21日(金)の2日にかけて釜山港国際コンベンションセンター(BPEX)にて開催します。2019年の第5回アジア慢性期医療学会上海大会以来コロナ禍で無期限延期となってしまいましたが、5年という長い期間を経て再開することができ、心より嬉しく光栄に思っております。

韓国は少子高齢化により高齢者人口が急増している中、保健福祉部の老人実態調査結果、がん、糖尿病、高血圧など慢性疾患を患っている

高齢者の割合は約84%に達すると発表しました。政府は高齢化の深刻化により発生する様々な問題を解消すべく介護施設、在宅サービスなど長期療養保険を整備するほかデモンストレーション事業を行うなど制度的な改編に努めております。

少子高齢化だけでなく医療・介護の人材不足、患者・利用者から選ばれるための工夫など日本、中国、韓国は共通課題を抱えていると思うが、本学会を通じて約20年先に高齢化社会を迎えた日本のノーハウを学ぶ貴重な機会になることを希望するとともに3か国の現況共有及び共通課題の解決方法を模索できる場になることを願っております。

コロナ禍という予想すらできなかった多様な変化を経験しながら医療現場の新たな基準と志向すべき方向性について皆様と論議する機会にさせて頂きたく本学会のテーマは「慢性期医療、ニューノーマルを論じる。(Long-Term Medical Care, Navigating the New Normal)」と決定しました。変わってしまった大切な日常を少しずつ取り戻しながらよく考えてみると、悪いことだけではなかったことに気が付きました。コロナ禍による人的、物質的資源などの限界を超え、オンライン診療やICT、IoTの発展がもの凄い速さで進むことが出来たと思うし、新たな医療・介護サービスの領域が切り開き、パラダイムの転換に繋がると考えております。

本学会は回復期、慢性期医療において優れた講演プログラムを通じ、専門性の高い学術交流の場になるものと期待しております。各国のノーハウを共有し、慢性期医療の現況を見直すことで互いの発展に繋がるきっかけになることを信じております。

詳しい内容は公式ホームページ(amcf2024.com)にてご確認頂けます。美しく自然豊かで韓国の代表的な港町釜山にて皆様とお会えますことを心から期待しております。

プログラム

日程表

日にち	場所	09:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
6/20 (木)	カンファレンス ホール						開会式	基調演説①	基調演説②	トークショー		VIPレセプション	
6/20 (金)	カンファレンスホール (看護)	S1.			ランチョンセミナー	S2.							
	イベントホール (リハビリテーション)	S3.			ランチョンセミナー	S4.							
	イベントホール (経営)		S5.		ランチョンセミナー	S6.			S7.				

※ VIPレセプション：ロッテホテル釜山 Pearl Room(3F)、対象者に限る。

詳細プログラム

6/20 (木)		6/21 (金)				
時間	内容	時間	看護	リハビリテーション	時間	経営・HR
09:00 ～ 13:00	展示ブース設置	09:00 ～ 09:35	感染管理の最新動向と事例 釜山大学校病院 感染チーム長 朴南貞(パク ナムジョン)	調整中 健康保険審査評価院		
		09:35 ～ 10:10	根拠を基にした転倒転落予防活動の 優秀事例 大韓看護協会 地域患者安全センター長 金孝仙(キム ヒョソソ)	日本回復期・療養病棟リハの在宅・社会復帰の 現況と見通し ～チーム医療と患者・患者家族の思い～ イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院 病院長・医師 中尾 健太郎 Nakao Kentaro	09:30 ～ 10:00	高齢者の口腔機能健診の 重要性と導入方案 朝鮮日報 記者 金哲中(キム チョルジュン)
		10:10 ～ 10:40	Break Time(30')		10:00 ～ 10:30	超巨大AI及ビッグデータ 基盤の個性化ケア NAVERクローバーケアコール部長 玉尚勳(オク サンフン)
		10:40 ～ 11:15	日本の褥瘡活動 ～永生病院の取組み～ 永生病院 看護師長・特定看護師 金江春花 Kanae Shunka	回復期リハにおいて 非使用症候群の適用事例 チェロ病院 病院長 奇榮珍(ギ ヨンジン)	10:30 ～ 10:50	Break Time(20')
		11:15 ～ 11:50	認知症の人と共に生きる 医療法人大誠会 理事長・医師 田中志子 Tanaka Yukiko	地域包括ケアにおいて訪問 リハビリテーションの必要性 江原大学校作業療法学科 教授 全炳珍(ジョン ビョンジン)	10:50 ～ 11:20	医療機関デジタル転換(DX) のための「Digital Front Door」 カカオヘルスケア 室長 吳采泳(オ チェス)
		11:50 ～ 13:30	ランチョンセミナー(100')		11:20 ～ 11:50	MZ世代との コミュニケーション技法 メディテップサービス研究所 代表 羅賢淑(ナ ヒョンスク)
13:00 ～ 14:00	登録	13:30 ～ 14:05	在宅医療、 慢性期医療の代案になるか。 ピョンハンジャリ医院 院長 魯東勳(ノ ドンフン)	日本の地域包括ケアの現状と未来 富家病院 摂食嚥下サポートチームリーダー・医師 金沢 英哲 Kanazawa Hideaki	13:30 ～ 14:00	ニューノーマル時代を導く 瞑想リーダーシップ 全人教育センター 代表 金美貞(キム ミジン)
14:00 ～ 14:30	開会式	14:05 ～ 14:40	～慢性期の患者看護のニューノーマル～ 『日本の地域包括ケアと在宅診療』 板橋区役所前診療所 院長・医師 島田潔 Shimada Kiyoshi	退院後の地域社会復帰とリハビリテ ーション医療機関の役割 ソウルリハビリテーション病院 診療部長 全貴杓(ジョン インビョ)	14:00 ～ 14:30	職員経験を通じた 人材確保及び選抜戦略 サラム人HR研究所 所長 崔承哲(チェ スン Chol)
14:30 ～ 15:10	各国の高齢化が進む 中で慢性期医療に 期待されるもの [Japan] 浜村明彦 (小倉リハビリテーション病院 名誉院長)	14:40 ～ 15:15	慢性期の患者看護のニューノーマル 武漢市普仁病院広恵分院院長・主任医師 張磊(チョウ ライ) Zhang Lei	日本における地域社会への 復帰の試み 千里リハリテーション病院 セラピー部 言語聴覚士主任 名古 将太郎 Nago Shotaro	14:30 ～ 14:45	Break Time(15')
15:10 ～ 15:30	Break Time(20')	15:15 ～ 15:45	Break Time(30')		14:45 ～ 15:15	病院の経営診断と分析 ：慢性期病院を中心に 病院イノベーション研究所 所長 李露均(イ ヨンギュン)
15:30 ～ 16:10	AI時代、慢性期医療の ニューノーマル(案) 韓国大韓医師協会 前会長 李必修(イ・ビルス)	15:45 ～ 16:20	患者の福祉と地域社会の連携事業 ウイナーネット 代表 金敬愛(キム ギョンエ)	在宅復帰率を高めるための 最新リハビリテーション及び改善案 江東慶熙大学病院 リハビリテーション医学科 教授 劉承敦(ユ スンドン)	15:15 ～ 15:45	革新を問い、文化で応える。 Blue Diamond サムスン昌原病院 広報チーム長 林京俊(イム ギョンジュン)
16:10 ～ 17:00	トークショー 「日本・中国・韓国の病院 はどのように生きている。」 司会：デシリメディ 編集局長 朴大珍(パク・デジン)	16:20 ～ 16:35	慢性期リハ患者の残存能力の 強化のための看護 梁山釜山大学校病院 リハビリテーション病院 (嶺南園域リハ病院)看護チーム長 慎蓮姬(シン ヨンビ)	地域社会復帰及び連携 四川広元川北糖尿病専門病院院長・副主任医師 吳 剣(コ ケン) Wu Jian	16:00 ～ 17:00	病・医院重大災害法の対応戦略 労務法人ヒョンユル 代表労務士 張眞那(ジヤン ジンナ)
17:00 ～ 17:30	Move to the banquet hall					
17:30 ～ 19:30	VIPレセプション					

施設及び道案内

カンファレンスホール



イベントホール



学会場案内



※ A Zone ブース: Platinum / B Zone ブース: Gold, Silver / C Zone ブース: Bronze (状況に応じて変更される場合がある。)

地図



道案内及び近隣ホテル

釜山駅	移動方向	釜山駅9番出口→釜山国際展示コンベンションセンター
	距離/所要時間	1km / 徒歩約10分(連絡橋)
金海空港	移動方向	国際線到着ロビー→釜山国際展示コンベンションセンター
	距離/所要時間	20km / 車約30分



ホテル	お問合せ	客室数	距離
 ロッテホテル釜山	+82 51-810-1000	650	6km / 車約15分
 ウェスティン朝鮮ホテル釜山	+82 51-749-7000	293	1.1km / 徒歩約15分
 アスティホテル	+82 51-409-8888	360	900m / 徒歩約7分

Long-Term Medical Care,
Navigating the New Normal

慢性期医療、ニューノーマルを論じる。

The 6th Asian Congress of Medical and Care Facilities

第6回アジア慢性期医療学会

2024

事前登録

会期及び会場

'24. 6. 20.(Thu)
~ 21.(Fri)
BUSAN BPEX (5F)

参加費

事前登録
₩150,000
現場登録
₩200,000

参加申込

ホームページより
フォームをダウン
ロードし、E-Mail送信

URLはこちら
amcf2024.com

お問合せ

+82-55-270-2540
com@silver4u.net